

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 英樹
幹事 石川 泰隆
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3216回例会プログラム

[当年度=14回目；当月=5週目]

2023年（令和5年）10月30日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:15 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……四つのテスト
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
※第1四半期皆出席の発表（出席委員会）
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/6) ……
クラブフォーラム（社会奉仕委員会）
卓話 「ロータリーと奉仕プロジェクト」
講師 福田 哲三 様（名古屋和合 RC）
（紹介者 兵藤 文男 会員）
※健康診断（職業奉仕委員会）

(11/9) ……

- 観劇家族例会（親睦活動委員会）
10:00～例会（岡崎信用金庫名古屋支店）
11:00～観劇・昼食（御園座）
※11月13日(月)の例会変更分です。

2. クラブフォーラム……………〈米山記念奨学委員会〉

- 13:00 卓話 「米山記念奨学事業について」
講師 地区米山記念奨学委員会
委員 大石 佳史 様（豊橋北 RC）
（紹介者 盛田 高史 会員）

12. 謝辞
13. 点鐘……〈会長〉

14. 閉会宣言

13:30 15. 散会

ゲ ス ト

杉浦 祐介 様（入会予定者）

出 席

会員総数 97名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 8名 出席率 90.91%
前々回（10/18）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 昨日の10月29日に三甲ゴルフ倶楽部京和コースで行われた「70周年記念ゴルフコンペ」にて、OUT 36、IN 40、GROSS 76、HC 4.8、NET 71.2で、都築浩介くんが優勝しました。
なお、ベストはOUT 39、IN 37、GROSS 76で磯部一智さんでした。

幹 事 報 告

- 1) 本日例会終了後に特別会議室にて、第5回理事会を開催致します。関係の会員は出席をお願い致します。

会 長 あ い さ つ

加藤 英樹



昨日70周年記念ゴルフコンペにご参加頂きました皆様、ありがとうございます。

今年度は周年なので事業は盛り沢山なのですが、先日の国際奉仕事業も大切な事業なのですが…。私にとってこのゴルフコンペは一番大切な事業でした。何とか天候にも恵まれ、45名の方々に

参加頂き盛大に開催できました事は本当に嬉しいことであり、ご参加頂いた方々には感謝の言葉しかありません。嶋津副実行委員長の晴天率の高さには感謝しかありません。ありがとうございます。

また、設営頂いた親睦活動委員会の皆様ありがとうございました。

そして、優勝されました都築浩介会員おめでとうございます。60周年に続いての優勝…。是非80周年でも優勝して頂き3連覇を期待しております。本当におめでとうございます。

さて、今日は地区の米山記念奨学委員会から大石佳史委員をお迎えして卓話を頂きます。私が地区の米山記念奨学委員会に向向していた折は各地のRCを訪問して卓話をさせて頂きました。

それぞれのRCの特徴を楽しめるという良い面もありますが、緊張の連続で大変だったとの思いもあります。是非、卓話者の方を温かく見守って頂けると助かります。

さて、米山記念奨学委員会では寄付金を1人2万円以上とお願いしております。刈谷RCにおいては前期と後期に2,500円ずつ、合計5,000円を会費より寄付金として納めております。

ここ刈谷RCにおいては、毎回の例会で米山のカウンターと財団のカウンターを設置させて頂いておりますので、お気づきの時に寄付頂けると助かります。ロータリーは寄付団体でありますので、ロータリアンの皆様もその精神をご理解頂き、是非ニコニコボックスを始め、財団と米山の寄付もよろしくお願い致します。

さて、今日は米山梅吉が創設にかかわった東京ロータリークラブの歴史を少しご紹介したいと思います。1920年10月20日にチャーターメンバー24名で設立されました東京ロータリークラブでしたが、創設当初は、活動に対する会員の関心も薄く、時には例会の存続も危ぶまれるほどで、そのクラブに活を入れたのは、幸か不幸か、1923年9月1日に起きた関東大震災であったそうです。

世界各地から集まった義援金によって、大がかりな社会奉仕活動を実行することになりました。まず、東京市の孤児院の敷地内に、別棟「ロータリーの家」を新築のうえ、寄贈することを決定。さらに東京、横浜の消失した小学校188校への備品贈呈。消失した産科医療病院への寄付、殉職警察官遺族への援助などを繰り広げ、これらは被災者救援と震災復興の一助となったそうです。

「奉仕の喜び」を経験した会員たちは、改めてロータリーの力を認識し、その発展を願うようになったそうです。これによってクラブ運営も一新され、それまでは月に1回だった例会も毎週水曜日に開かれることになったそうです。ただ、残念なことに、「ロータリーの家」は、のちに戦災で消失してしまっただけでなく、

その後、大陸での戦火拡大と対米関係の悪化に伴い、日本のロータリーに対する攻撃は一段と激しくなり、クラブの例会に憲兵や特高がしばしば臨席し、また、そこでのスピーチもあらかじめ警察に届け出なければならなくなったそうです。新聞紙上でも、一部では「米国のスパイ」呼ばわりされたうえ、「解散すべし」と糾弾され

る始末であったそうです。

そこでロータリー連合会では、ロータリー組織を国家単位に改組することとし、もし、これが受け入れられなければRIから脱退する方針を定め、傘下の各RCに通告。しかしながら世情の圧力は、ロータリアンの力ではすでに支えきれないところまできていて、遂に日本と満州の連合会会長であった米山梅吉が軍当局に呼び出され、ロータリーの存在は「大日本帝国に対する反逆である」とまで極言されるに至った。

1940年8月8日、まず、静岡RCが解散。東京RCでは8月14日の例会で解散問題がとりあげられたが、なお、賛否は分かれていたそうです。8月19日の岡山、8月21日の京都、9月5日の神戸、今治、帯広と相次いで解散を決定。東京RCも遂に9月11日の例会で解散を決議した。

この時、創立者の米山梅吉は重い足を引きずるようにして壇上に立ち、「奉仕の理想はあくまでも堅持したい」と最後の挨拶をしたそうです。東京RCが誕生して、ちょうど20年がたっていたそうです。戦時中の奉仕活動は、主に傷病兵や留守家族の慰問、孤児の救済にそそがれたそうです。

その後1949年3月に再度国際ロータリーに承認され、東京RCのチャーター伝達式は、4月27日、日本工業倶楽部で行なわれ、ミーンズから小林会長にチャーター(番号は従来のまま855番)が手渡された。式には名誉会員となったマッカーサー元帥からステートメントが寄せられ、吉田茂首相も出席して祝辞が述べられたそうです。

そして、1952年に設立が提起された米山記念奨学基金の目的は、日本のロータリーの創設者、米山梅吉の功績を記念し、アジア地域から優秀な学徒を日本に招致して学問、技術を研究させようとするものであったそうです。

米山奨学基金は、将来、全国的事業に発展させたいというのが当初からの理想で、他クラブへの呼びかけを始めたところ、続々と賛同を得て、1958年のロータリー米山奨学会の設立に至りさらに1967年には(財)ロータリー米山記念奨学会となり、いまや1年間の奨学生数百名という日本ロータリーの大きな国際事業になっているのは皆様もご存じ所です。

ところで、私は米山記念奨学委員会に向向していたおり、WFFの飲料ブースの運営をしてきました。その時は奨学生の方々と運営したのですが、この運営資金が寄付されることを奨学生に伝えると「初めてのボランティア活動だ。」と言って嬉々として販売を手伝ってくれました。そこにも彼らなりの「奉仕の喜び」があったのだと思います。

65周年に寄贈した多目的トイレやドームを活用して、子供たちがバレー大会で素晴らしい成果を収めることや、70周年で寄贈した保育器の上で元気に泣いている赤ちゃんがすくすく成長していくことなども「寄付の喜び」であり「奉仕の喜び」でもあると思います。

1946年4月に東京RCの創設者・米山梅吉は郷里の沼津で亡くなるのですが、その「奉仕の精神」や伝えたかった「奉仕の喜び」は今でもロータリアンの中に息づいて

いると思います。今後も刈谷ロータリーとしていろいろな「奉仕」を続けて頂きたいと思います。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

クラブフォーラム

卓話 「米山記念奨学事業について」

講師 地区米山記念奨学委員会
委員 大石 佳史 様



平素は地区米山記念奨学事業に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私は地区米山記念奨学委員会委員の大石と申します。豊橋北ロータリークラブより出向させて頂いております。本日はよろしくお願い致します。

米山記念奨学事業は日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育てること。これが米山記念奨学事業の使命、意義であり、根っこの部分だと私は思っています。本日、私が皆さまに一番お伝えしたいことです。

ロータリー米山記念奨学金は、日本のロータリーの父、米山梅吉翁の名前を冠した事業です。と言いましても、梅吉さんの財産で作られたものではありません。

1952年、東京ロータリークラブ会長に就任した古澤丈作翁が外国人留学生のために奨学金制度設立を提唱し、日本で初めてロータリークラブを創立した米山梅吉を記念した「米山基金」の構想を発表し委員長となりました。

米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにもかかわらず、管理費は支出のわずか3%で、97%は事業費に充てられています。特別寄付は任意ですが、寄付をするタイミングとして年に1～3回、記念日等に設定し、定額で寄付をすると忘れることなく出来ます。

米山奨学事業にとって欠かせないのが、世話クラブとカウンセラーです。ぜひとも世話クラブとして奨学生の受け入れをお願い致します。

米山記念奨学事業に対し、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



刈谷 RC 創立70周年記念ゴルフ大会

令和5年10月29日(日)

於：三甲ゴルフ倶楽部京和コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	都築 浩介	76	4.8	71.2
2位	盛田 高史	82	10.8	71.2
3位	盛田 豊一	79	7.2	71.8
B B	横山 裕司	132	40.8	91.2

